

中国四国農政局管内の農地・農業用施設等の災害について

令和5年農地・農業用施設等の災害の概要(中国四国農政局管内)

- 令和5年に発生した災害のうち、農地・農業用施設等の被害箇所は6,124箇所、被害額は約152億円でした。
- 主な災害として、梅雨前線豪雨（5/28～7/25）、台風第7号（8/14～8/18）が挙げられ、これらの被害額は、中国四国農政局管内の農地・農業用施設全体被害額の約94%を占めています。

- また、上記2件の災害は、^{げきじん}**激甚災害（本激）**※に指定されています。

※「激甚災害（本激）」とは、地方財政の負担を緩和し、又は被災者に対する特別の助成を行うことが特に必要と認められる災害が発生した場合に、中央防災会議の意見を聴いた上で指定されたものをいいます。

【災害別被害金額（令和5年災害）】

单位：百万円

災害名	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	計
3月豪雨	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8
4月豪雨	8	0	0	0	0	0	0	0	10	18
5月豪雨	0	0	371	216	18	0	0	30	8	643
梅雨前線豪雨	248	448	12	332	2,361	40	37	1,632	391	5,501
台風第6号	0	0	0	0	0	0	0	0	135	135
台風第7号	7,380	52	1,240	0	0	75	93	0	0	8,840
8月落雷	16	0	0	0	0	0	0	0	0	16
9月豪雨	4	59	22	0	0	0	0	0	0	85
11月豪雨	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
計	7,658	559	1,645	548	2,379	115	130	1,662	552	15,248



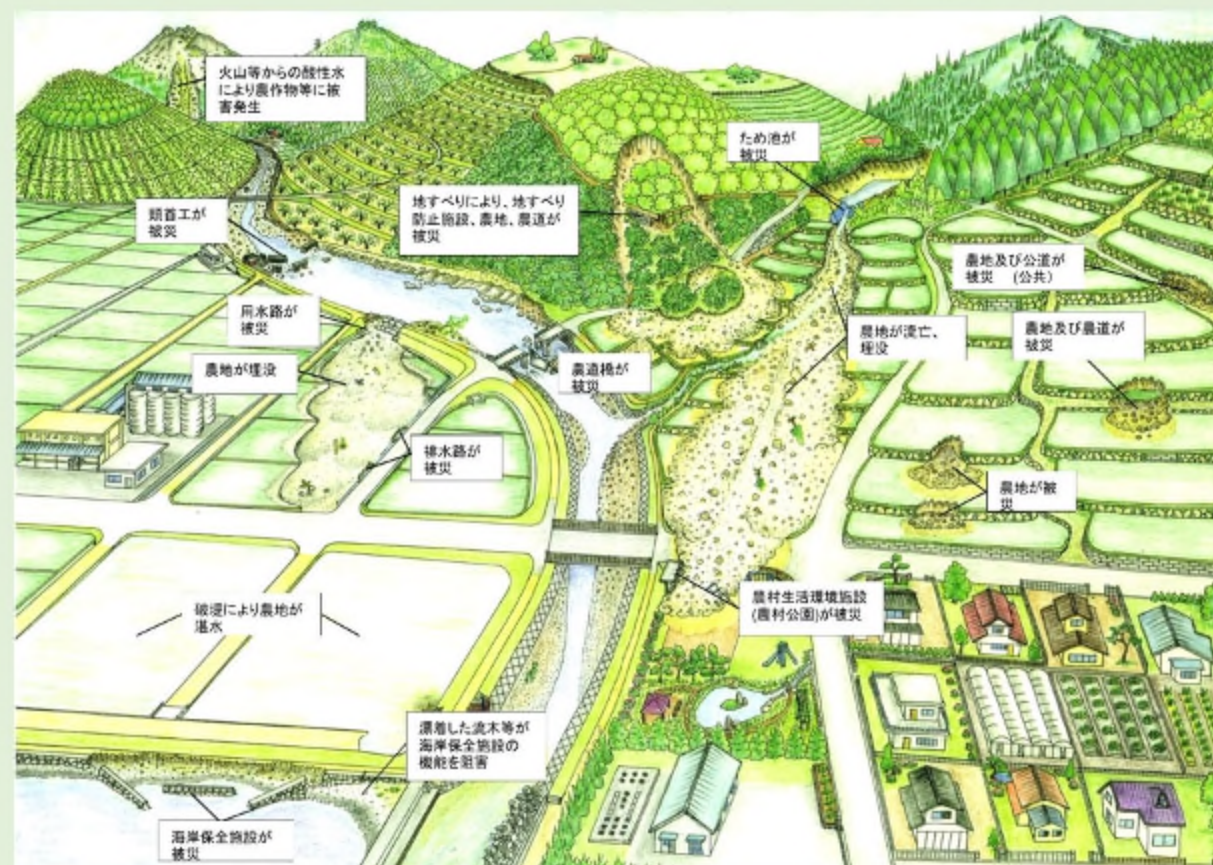
【台風第7号による農地等の被害（鳥取県八頭郡八頭町）】

農地・農業用施設等の災害復旧事業

- ❑ 災害による農地・農業用施設等への被害から復旧させるため、市町村等により様々な災害復旧事業が行われております。
- ❑ 中国四国農政局では、管内の県及び市町村等と連携を取りながら、災害への対応・復旧支援や補助金の交付などの予算措置を行っています。



【農政局職員（緑ピプス）による被害状況の把握】
（山口県長門市）



【農地・農業用施設等の被害の例】

区分	名称	事業概要	主な要件	国補助率 (普通)
本災	農地災害復旧事業	田、畑の復旧	肥培管理している土地、耕作している土地で 40万円以上の事業費	50%
	農業用施設災害復旧事業	水路、道路等の復旧	効用発揮している施設で受益戸数が2戸以上 40万円以上の事業費	65%
	災害関連農村生活環境施設復旧事業	集落排水、農村公園の復旧	受益戸数が2戸以上で200万円以上の事業費	50%
災害関連	農業用施設災害関連事業	本災と併せて施行する 再度災害防止	200万円以上で全体の50%以内の事業費	50%

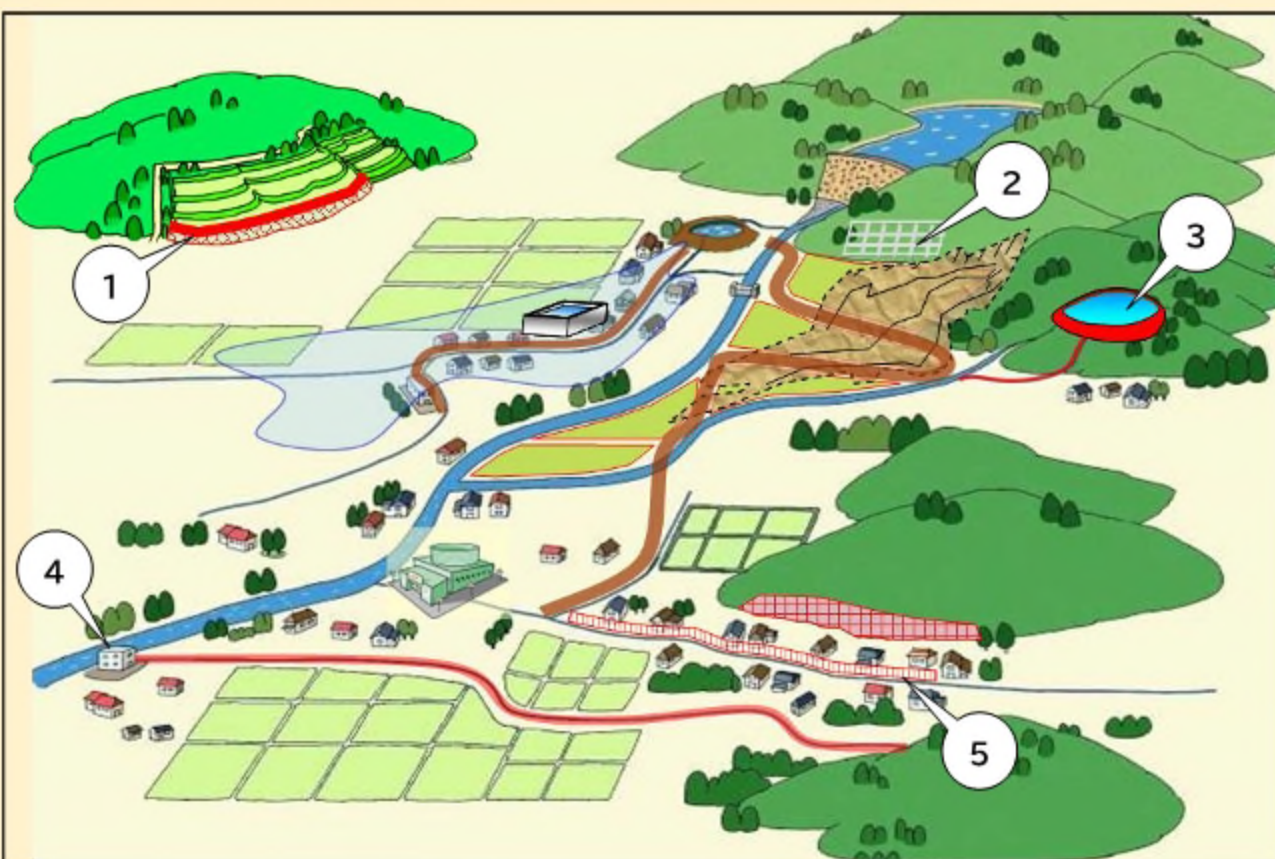
【農林水産省において補助している主な災害復旧事業】

農業農村の防災減災対策とため池

◇農村地域の防災減災対策ってなに？

農村地域の防災力を強化するため、脆弱化した農業用水路や取水施設、農業用ため池などの整備を行い、**災害の発生を未然に防ぐことを目的**としています。

農村地域防災減災対策のイメージ図と対策内容



全体：地域防災の機能増進として、**3つの対策**を実施しています。

- ・耐震性向上のための施設の整備
- ・総合的な地域排水機能の強化
- ・農道の防災対策（農道橋の耐震対策、危険箇所の整備）

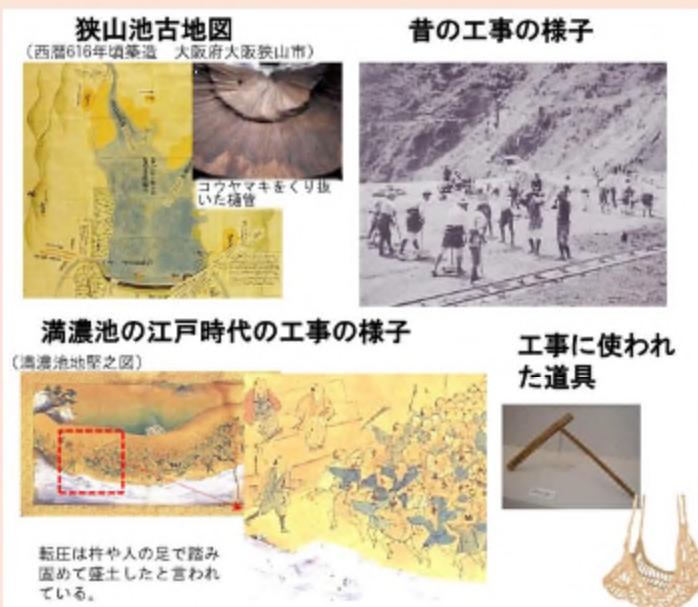
- ①：農地浸食の防止を実施しています。
- ②：地すべり防止施設の整備を実施しています。
- ③：ため池の整備、ため池の統廃合、管理体制の強化、洪水調節機能の強化を実施しています。
- ④：湛水を防止するための排水機場等の整備、地盤沈下の対策を実施しています。
- ⑤：避難路、避難施設、安全施設の整備等を実施しています。

◇「ため池」と「防災重点農業用ため池」とは？

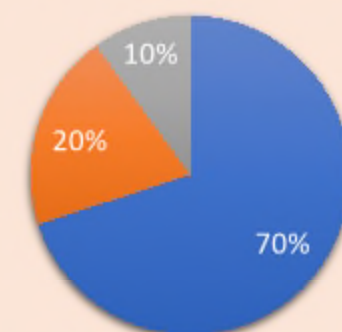
- ・農業用水を確保するために人工的に造成された池を「**ため池**」といいます。
- ・特に決壊すると下流に被害を与えるおそれのあるため池を「**防災重点農業用ため池**」といいます。

ため池の歴史

- ・ほ場の拡大や土木技術の発展とともに農業水利施設が造成され、農業用ため池も数多く築造されました。
- ・ため池の**約7割**は、江戸時代以前に築造されたもの、もしくは造成年代が不明なものである。



ため池の築造年代（全国）



- 江戸時代以前及び不明
- 明治・大正
- 昭和以降

中国四国管内における「ため池」の箇所数

日本のため池の**約4割**は、中国四国管内にあります。

県名	ため池	防災重点農業用ため池
鳥取県	969箇所	308箇所
島根県	5,014箇所	1,305箇所
岡山県	9,266箇所	4,012箇所
広島県	16,627箇所	6,859箇所
山口県	7,617箇所	1,239箇所
徳島県	540箇所	363箇所
香川県	12,269箇所	3,049箇所
愛媛県	3,118箇所	1,740箇所
高知県	387箇所	211箇所
合計	55,807箇所	19,086箇所
全国	151,191箇所	52,701箇所



満濃池（香川県仲多度郡まんのう町）

ため池の防災・減災対策への取り組み

◇ため池の防災・減災対策

- ・防災重点農業用ため池を中心に、ハード・ソフト対策の組み合わせによる効果的な防災・減災対策を推進しています。
- ・決壊した場合の影響度を家屋数や公共施設の種類により評価し、優先順位を付けて対策を推進しています。

緊急時の迅速な避難行動につなげる対策

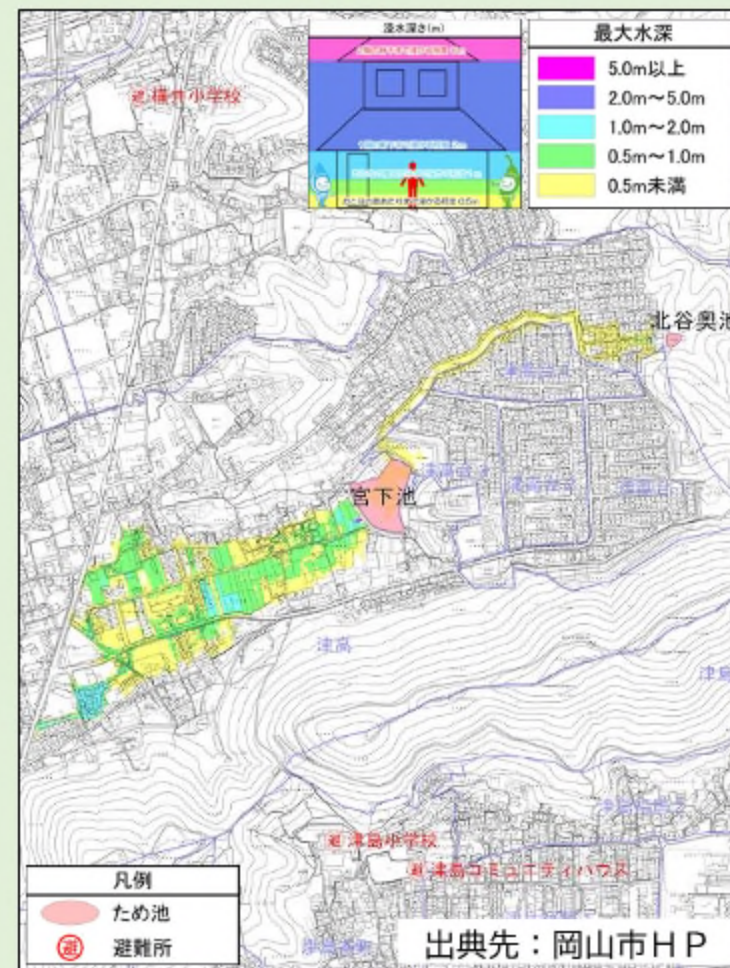
- ため池マップの作成
ため池の名称、位置(座標)等を記載
- ため池データベースの充実
新たな防災重点ため池を調査し、データベースに登録等
- 緊急連絡体制の整備
管理者、市町村、都道府県、消防、警察、国等の連絡網を整備
- ため池防災支援システムの活用
迅速な情報収集・共有のためにシステムを活用
- 浸水想定区域図の作成
家屋等が少ないため池は、ハザードマップに代わって作成
- 水位計等による監視体制の整備
ため池の状況を速やかに把握するための水位計等の管理施設の整備
- ハザードマップの作成
影響度の高いため池を優先
- 地域防災計画等への位置付け
緊急時の避難行動やため池点検の実施強化

施設機能の適切な維持、補強に向けた対策

- 保全管理体制の強化
地域又は都道府県を単位として、管理者の指導や災害時等の現地パトロール体制を構築
- 補強対策
影響度の高いため池を優先(耐震対策・豪雨対策)
- ストックの適正化
利用されていないため池等を対象として、ため池の統廃合、廃止に必要な代替水源を確保。需要に応じ容量を縮小

ハザードマップの作成

- ・都道府県、市町村、土地改良区等が主体となって作成しています。
- ・ハザードマップは、都道府県、市町村等のHPで公表されています。



【防災重点農業用ため池のハザードマップ】
(宮下池+北谷奥池：岡山市北区津高)

補強対策



【ため池の補強対策】
法面保護による堤体の浸食防止

ストックの適正化



【ため池の廃止】
堤体開削による貯水機能の喪失

農村地域の防災減災対策は2つの事業を活用してため池の防災・減災対策を行っています。

- ・防災重点農業用ため池緊急整備事業(防災重点農業用ため池のハード・ソフト対策の推進)
- ・農業水路等長寿命化・防災減災事業(農業水利施設の長寿命化対策、防災減災対策の支援)

家庭備蓄のすすめ

はじめよう！おうちで楽しく食品ストック

最低 **3** 日分、

できれば **7** 日分

月 火 水 木 金 土 日



要配慮者なら **2** 週間分

月 火 水 木 金 土 日
月 火 水 木 金 土 日

？ 備蓄食品を用意する際の分類のヒント！

備蓄食品は、大きく分けて「非常食」と「日常食品」の2種類があります。普段食べている食品を多めに買い置きするだけで、備蓄になるんです。これらをバランスよく備えることが大事です。

非常食

災害時の備えとして用意し

主に災害時に使用するもの

【非常食は、場面に応じて日常でも利用が可能】

日常食品



日常から使用し、かつ、
災害時にも使用するもの

【ローリングストック】



日頃からどんどん食べて 好みの味を探しましょう！



<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/foodstock/index.html>



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

詳しくは農林水産省WEBサイトの
「家庭備蓄ポータル」で！

農林水産省 大臣官房政策課
食料安全保障室

<http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/foodstock/index.html>

なぜ 食品の家庭備蓄が必要なの？

過去の経験によれば、災害発生からライフライン復旧まで1週間以上を要するケースが多くみられます。また、災害支援物資が3日以上到着しないことや、物流機能の停止によって、1週間はスーパーマーケットやコンビニなどで食品が手に入らないことが想定されます。

このため、**最低3日分～1週間分×人数分の食品の家庭備蓄**が望ましいといわれています。



自治体が作成するハザードマップなどを確認し、お住まいの地域の状況に応じて2週間分など多めに備えることも大切です。

家庭備蓄の例

1週間分 / 大人2人の場合

必需品



水 2L×6本×4箱

※1人1日およそ3L程度
(飲料水+調理用水)

お好みのお茶や清涼飲料水なども、あると便利!



カセットコンロ・カセットボンベ×12本

※1人1週間およそ6本程度

主食

エネルギー
炭水化物



米 2kg×2袋

※1袋消費したら1袋買い足す(1人1食75g程度)



乾麺(うどん・そば・そうめん・パスタ)

・そうめん2袋(300g/袋)
・パスタ2袋(600g/袋)



カップ麺類×6個



バックご飯×6個



その他(適宜)

・LL牛乳
・シリアルなど

主菜

たんぱく質



レトルト食品

・牛丼の素、カレー等18個
・パスタソース6個



缶詰(肉・魚)

・お好みのもの18缶

副菜

その他
(適宜)



日持ちする野菜類

・たまねぎ、じゃがいも等



梅干し、のり、乾燥わかめ等



野菜ジュース、果汁ジュース等



調味料

・砂糖、塩、しょうゆ、めんつゆ等



インスタントみそ汁や即席スープ



チョコレートやビスケットなどの菓子類も大事!

あなたの食生活別 選び方のヒント

- ・ 普段料理をする ▶ 常備菜・乾物がおすすめ : 梅干し、缶詰、切り干し大根など。
- ・ 中食が多い ▶ 必需品+推奨備蓄食品 : レトルト食品、フリーズドライ食品など。
- ・ 普段料理をしない ▶ 必需品+好きなもの : カップラーメン、菓子類、非常食など。

備蓄食品の選び方

日頃から、栄養バランスや使い勝手を考えて各家庭に合った食品を選ぶことが大切です。

- 1 家庭にある食品をチェックしましょう。
- 2 栄養バランスを考え、家族の人数や好みに応じた備蓄内容・量を決定。
- 3 足りないものを買い足す。
- 4 賞味期限が切れる前に消費し、消費したものは買い足す。

簡単! 「ローリングストック」



「ローリングストック」とは、普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

ココがポイント

- ・費用、時間の面で、普段の買い物の範囲でできる
- ・買い置きのスペースを少し増やすだけで済む



備蓄の目安 = 家族の人数 × 最低 3 日分

※できれば1週間分を備えましょう

災害時に備えて、赤ちゃんや高齢者をはじめ 配慮が必要な方のための食品備蓄を始めましょう

まず第一に水。命を守るため、水を備えておくことは絶対に必要です。

そしてカセットコンロとカセットボンベ。

お湯を沸かせれば、温かい飲み物や食事が用意できます。

災害時には、物流機能の停滞により、特殊食品が手に入りにくくなることが想定されます。平時から少なくとも2週間分を備蓄することが推奨されます。

要配慮者のための食品備蓄のポイント

乳幼児

- 粉ミルク
- 哺乳ビン
- 紙コップ、使い捨てスプーン
- 多めの飲料水



- レトルトなどの離乳食
- 好物の食品、飲み物



高齢者

- レトルトやアルファ米のおかゆ
- 缶詰・レトルト食品・フリーズドライ食品
- インスタントみそ汁、即席スープ等
- 食べ慣れた乾物

- 栄養補助食品
- 好物の食品、飲み物



食べる機能(かむこと・飲み込むこと)が弱くなった方

- やわらかいレトルトご飯
- レトルトなどのおかゆ
- スマイルケア食などのレトルト介護食品
- 缶詰・レトルト食品・フリーズドライ食品
- とろみ調整食品
- 好物の食品、飲み物



慢性疾患の方

- ① 代謝性疾患【糖尿病、脂質異常症(高脂血症)、高尿酸血症(痛風)】
- ② 高血圧

→ 一般の方と共通した備えで、献立を工夫

- ③ 腎臓病 → 低たんぱく、低カリウムのレトルト食品など、特殊食品を多めに備える



食物アレルギーの方(原因食物(アレルゲン)が含まれていない食品)

- アレルギー対応の粉ミルク
- アレルギー対応のレトルトなどの離乳食
- レトルトなどのおかゆやご飯食べ慣れた乾物
- 缶詰・レトルト食品・フリーズドライ食品
- 好物の食品、飲み物

注意

- 各食品の内容は購入時に原材料表示や食品メーカーのHPで必ず確認を行い、不明な点は各社に問い合わせましょう。
- 利用される方の原因物質(アレルゲン)が含まれていない食品を選びましょう。